

甘いミカン「夕焼け姫」いかが

豊川 愛知淑徳大生が贈答目印デザイン

県が開発しブランド化を目指すミカン「夕焼け姫」の今季の発売に合わせたPRイベントが25日、豊川市馬場町の農産物直売所「グリーンセンター豊川」であった。産学官連携で初めて贈答用に企画した化粧箱でも販売し、デザインを考え

た愛知淑徳大の学生が生産者らとともに買い物客にアピールした。夕焼け姫は東三河の一部農家が栽培し、濃厚な甘みが特長。いずれも創造表現学部4年の野村息吹さんが化粧箱、竹尾亜泉さんがPRで配るクリアファイル

をデザインした。それぞれ夕焼け姫のシンボルマークが入っている。

販売が始まると次々に箱入り(2・5kg、2500円)が売れ、試食では「確かに甘いね」とうなずく買い物客の姿も。ファイルを配った竹尾さんは「手に取ってデザインをほめてもらい、良い経験になった」と話した。

県によると、販売は6年目で年々量が増えている。今季は25トほどで12月上旬まで、主に市内のグリーンセンターで販売する。

(島将之)



今季の販売が始まった「夕焼け姫」をPRする学生ら＝豊川市馬場町で

2023年11月26日(日) 中日新聞東三河版より
この記事は中日新聞社の承諾を得て転載しています。